

2022年3月期 決算説明資料

三菱UFJ証券ホールディングス株式会社

2022年4月

・ 連結決算ハイライト	P2
・ 業績の推移	P3
・ 連結決算サマリー	P4
・ 業務別概要	P7
・ 2021年度トピックス	P8

Appendix

・ 連結業績推移	P9
・ 連結貸借対照表の状況	P10
・ 三菱UFJモルガン・スタンレー証券(MUMSS)の状況	P11
・ auカブコム証券・海外現地法人の状況	P14
・ 【ご参考】国内証券会社の状況	P15
・ 財務基盤関連指標(格付・自己資本規制比率)	P16

注)本資料掲載情報は、本頁以降、特段の追記がなければ表示単位未満は切捨て記載しております。
また、海外拠点の決算日は連結決算日と3ヶ月異なるため、累計業績推移は1～12月、四半期業績推移は10～12月の実績となります。

年間業績推移

- 財務ベース業績は、純営業収益 3,081億円(前期比△8%)、経常損益 480億円(同△40%)、親会社株主に帰属する当期純損益 172億円(同△56%)
MUSAを含む実質ベースでは、純営業収益 3,867億円(同△7%)、経常損益 674億円(同△35%)、親会社株主に帰属する当期純損益 317億円(同△44%)
米国顧客との取引に起因した損失(約△296億円)を計上したものの、この影響を除けば、財務・実質ベースとも前期並みの水準
- 国内拠点は、年明け以降、地政学リスクの高まり等を受けてマーケット環境が不安定化。投資家のリスクアペタイト低下により業績は減速したものの、第3四半期までの好調な業績が寄与し、増収増益。経常利益は2017年3月期以来となる高水準※¹
- 海外拠点は、米国顧客との損失を主因に減収減益。フロー・プロダクツ業務で苦戦した一方、証券化、ストラクチャード・ソリューションは堅調

(単位: 億円)	財務ベース			MUSAを含む実質ベース(※2)		
	2021年3月期	2022年3月期	前期比 増減率	2021年3月期	2022年3月期	前期比 増減率
純営業収益	3,376	3,081	△8%	4,173	3,867	△7%
販売費・一般管理費	2,749	2,851	+3%	3,299	3,436	+4%
経常損益	804	480	△40%	1,041	674	△35%
親会社株主に帰属する当期純損益	393	172	△56%	571	317	△44%

四半期業績推移

- 国内拠点は、マーケット環境が不安定化し、受入手数料が減少した一方、トレーディング損益は収益機会を適切に捕捉し増加
- 海外拠点は、キャピタル・マーケット業務、ソリューション業務が堅調も、退職給付制度に関連した費用計上により、経常利益はほぼ横這い

(単位: 億円)	財務ベース			MUSAを含む実質ベース(※2)		
	2022年3月期 3Q	2022年3月期 4Q	前四半期比 増減率	2022年3月期 3Q	2022年3月期 4Q	前四半期比 増減率
純営業収益	837	883	+5%	1,049	1,087	+3%
販売費・一般管理費	712	771	+8%	873	928	+6%
経常損益	183	176	△3%	232	221	△4%
親会社株主に帰属する当期純損益	93	92	△0%	129	126	△1%

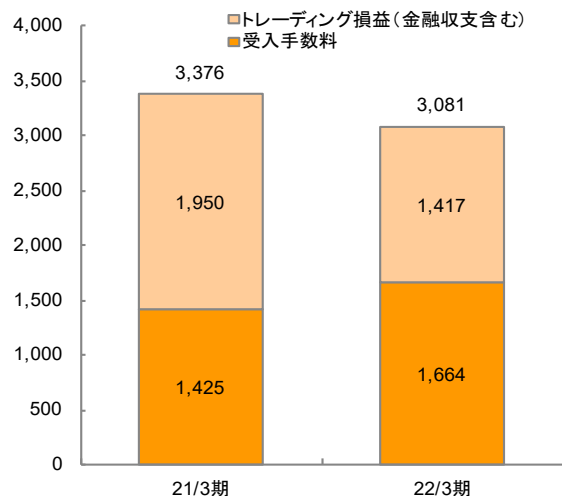
※1 旧三菱UFJモルガン・スタンレー証券(旧MUMSPB)を含む旧MUMSS連結ベースとの比較

※2 MUFGセキュリティーズアメリカ(MUSA)は、2017年3月期3Qより米国ブルデンシャル規制対応のため当社の連結対象外となりましたが、社内収益管理は引き続き同社を含めて行っているため、合算ベースを記載しております。

年間業績推移

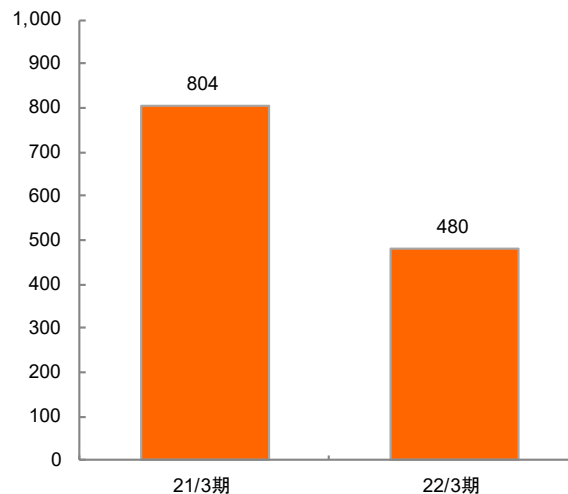
純営業収益

(単位: 億円)



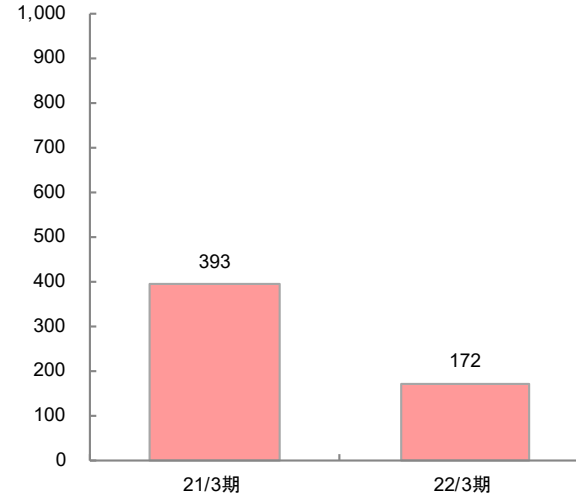
経常損益

(単位: 億円)



親会社株主に帰属する当期純損益

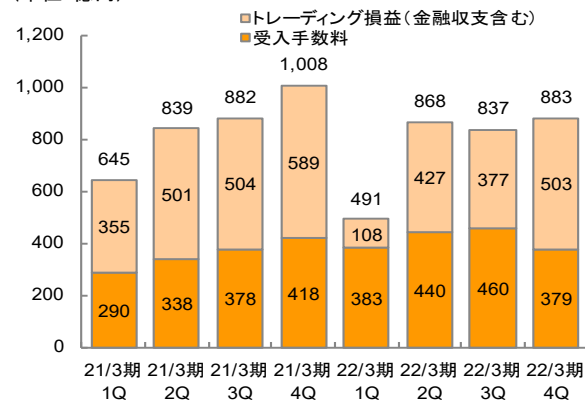
(単位: 億円)



四半期業績推移

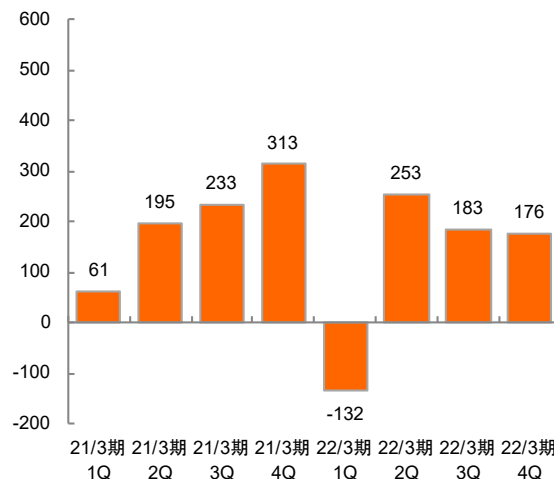
純営業収益

(単位: 億円)



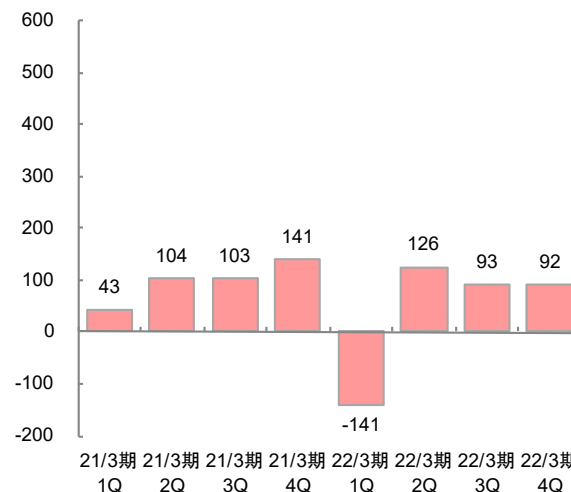
経常損益

(単位: 億円)



親会社株主に帰属する当期純損益

(単位: 億円)



受入手数料

2022年3月期実績: 1,664億円

■ 前期比 +238億円 (+16%)

- 委託手数料: 前下期の株式市場活況を背景とした収益が剥落し減収
- 引受・売出手数料: 債券引受では大型劣後債・外債案件を多数獲得、株式引受でも複数の大型主幹事案件を獲得し、大幅増収
- 募集・売出手数料: スtock資産拡大に向けた取組みにより、株式投信販売は高水準を維持し、大幅増収
- その他受入手数料(受益証券): 株式投信の着実な積上げに加え、期中の時価上昇も寄与
- その他受入手数料(その他): 大ログローバルオファリング案件やM&A案件のクロージングで収益計上

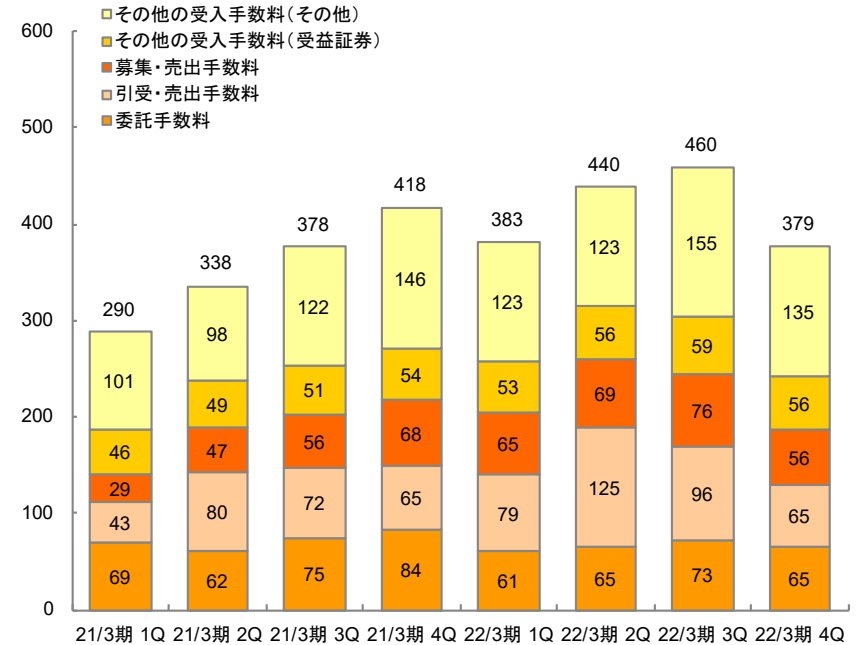
第4四半期実績: 379億円

■ 前四半期比 △80億円 (△17%)

- 顧客の投資意欲低下、発行市場規模縮小等を受けて各科目とも減収

推移

(単位: 億円)



(単位: 億円)

	2021年3月期	2022年3月期	前期比 増減率	2022年3月期 3Q	2022年3月期 4Q	前四半期比 増減率
委託手数料	292	266	△8%	73	65	△10%
引受・売出手数料	261	366	+40%	96	65	△31%
募集・売出手数料	201	267	+32%	76	56	△26%
その他の受入手数料(受益証券)	201	225	+11%	59	56	△5%
その他の受入手数料(その他)	469	537	+14%	155	135	△12%
合計	1,425	1,664	+16%	460	379	△17%

連結決算サマリー② トレーディング損益・金融収支 (財務ベース) MUFG 三菱UFJ証券ホールディングス

トレーディング損益・金融収支

2022年3月期実績: 1,417億円

■ 前期比 △533億円 (△27%)

➢ エクイティ業務:

国内拠点: デリバティブは前期に計上したポジション損失が剥落した一方、
現物取引は顧客フローが減少し減収

海外拠点: 米国顧客との取引損失が影響し減収

➢ フィクストインカム業務:

国内拠点: 現物取引は欧米金融政策変更時にポジション損失計上も、
デリバティブは仕組債関連収益が回復し、ほぼ横這い

海外拠点: レーツ関連のデリバティブやレボ等で苦戦

第4四半期実績: 503億円

■ 前四半期比 +126億円 (+33%)

➢ エクイティ業務:

国内拠点・海外拠点とも堅調

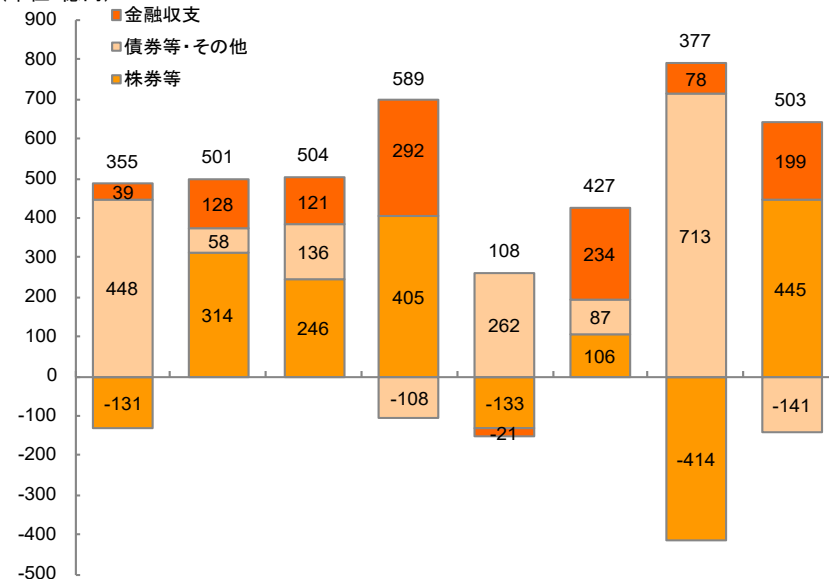
➢ フィクストインカム業務:

国内拠点: 国債入札等の収益機会を捕捉し、大幅増収

海外拠点: 低調だった前四半期比では復調

推移

(単位: 億円)



21/3期 1Q 21/3期 2Q 21/3期 3Q 21/3期 4Q 22/3期 1Q 22/3期 2Q 22/3期 3Q 22/3期 4Q

(単位: 億円)

	2021年3月期	2022年3月期	前期比 増減率
株券等	834	4	△99%
債券等・その他	534	922	+72%
金融収支	581	490	△15%
合計	1,950	1,417	△27%

2021年3月期

2022年3月期

前期比
増減率

2022年3月期
3Q

2022年3月期
4Q

前四半期比
増減率

	2021年3月期	2022年3月期	前期比 増減率
株券等	834	4	△99%
債券等・その他	534	922	+72%
金融収支	581	490	△15%
合計	1,950	1,417	△27%

	2022年3月期 3Q	2022年3月期 4Q	前四半期比 増減率
株券等	△414	445	—
債券等・その他	713	△141	—
金融収支	78	199	+153%
合計	377	503	+33%

【ご参考】管理会計ベース(※)

エクイティ業務	563	325	△42%
フィクストインカム業務	1,070	769	△28%
合計	1,633	1,094	△33%

エクイティ業務	563	325	△42%
フィクストインカム業務	1,070	769	△28%
合計	1,633	1,094	△33%

エクイティ業務	119	184	+53%
フィクストインカム業務	171	250	+46%
合計	290	434	+49%

※MUMSSとMUSAを含む海外拠点の管理会計ベース計数を単純合算して記載しております。

販売費・一般管理費

2022年3月期実績: 2,851億円

■ 前期比 +101億円 (+3%)

- 国内拠点: 会計基準変更に伴い取引関係費が減少
- 海外拠点: 現地通貨建経費は減少も、円安進行により円換算後では増加

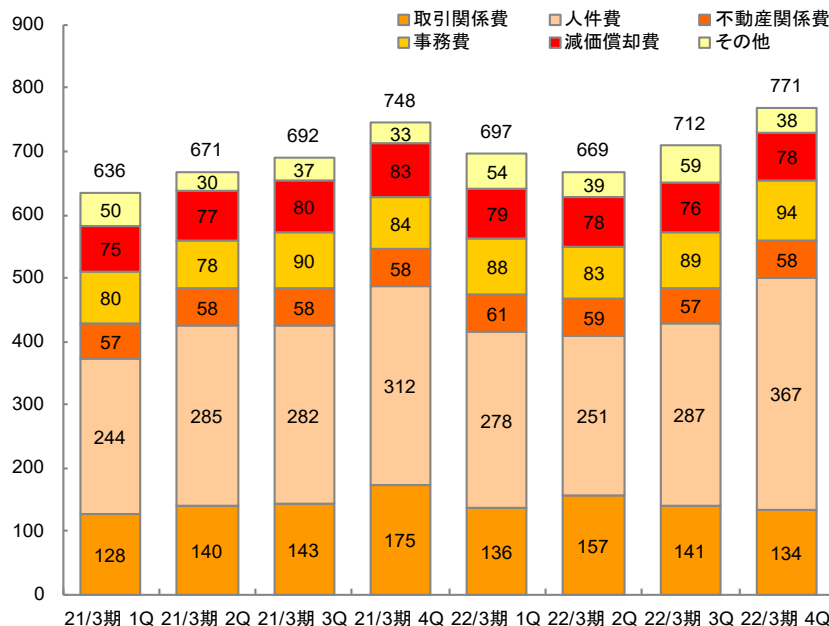
第4四半期実績: 771億円

■ 前四半期比 +59億円 (+8%)

- 主に海外拠点の退職給付制度に関連した費用が増加

推移

(単位: 億円)



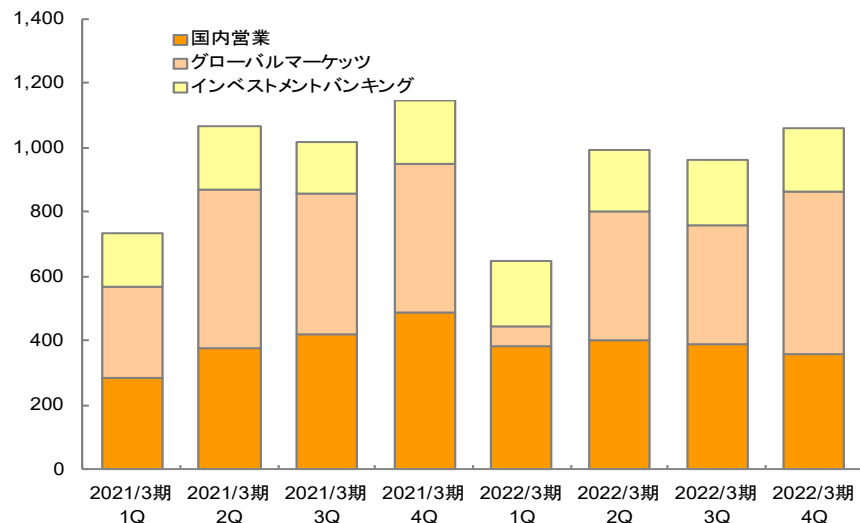
(単位: 億円)	2021年3月期	2022年3月期	前期比 増減率	2022年3月期 3Q	2022年3月期 4Q	前四半期比 増減率
取引関係費	588	569	△3%	141	134	△5%
人件費	1,124	1,185	+5%	287	367	+28%
不動産関係費	234	236	+0%	57	58	+1%
事務費	334	355	+6%	89	94	+5%
減価償却費	317	313	△1%	76	78	+1%
その他	151	190	+26%	59	38	△35%
合計	2,749	2,851	+3%	712	771	+8%

業務別概要(第4四半期実績)

- 国内営業は減収となったものの、グローバルマーケットは前四半期比増収
インベストメントバンキングは引き続き堅調
- 国内営業：不透明なマーケット環境を背景に、投資家の投資意欲低下で
投信販売額が減速し、前四半期比減収
- グローバルマーケット：国内拠点・海外拠点とも増収。国内拠点はフィクスト
インカム業務で収益機会を捕捉、海外拠点はストラクチャード・ソリューション
業務からの収益が寄与
- インベストメントバンキング：国内拠点はM&A関連収益が牽引、海外拠点は
前四半期に続き堅調

推移

(単位: 億円)



※MUSAを含む管理会計ベースで記載しております。

事業領域トピックス

- ウェルスマネジメント(WM)ビジネスの高度化
 - ・ MUFGデジタルプラットフォームを活用し、ゴールベースアプローチに基づいた総資産ベースのポートフォリオ提案を実現
 - ・ WMビジネスに相応しい処遇体系・長期担当制を本格導入
 - ・ プロ向け商品(オルタナティブ等)を富裕層向けに小口化
- 「EUROMONEY」誌PB&WMサーベイで10年連続総合ランキング1位

金融経済教育への取り組み

- 次世代を担う子どもたちに金融経済教育を通して社会に貢献するという方針の下、小学生から大学生まで広く支援する体制を整備
 - ・ 小学生に対する金融経済教育新プログラムの開発に着手(10/28)
 - ・ さいたま市教育委員会と金融経済教育に係る連携協定を締結(12/17)
 - ・ 小学生向け金融経済教育を全国の公立や私立の小学生を対象に実施(4/28)
 - ・ 中学生・高校生に対する新たな金融経済教育プログラムの開発に着手(4/28)

ESGの推進

- 第3回ESGファイナンス・アワード・ジャパン(環境大臣賞)受賞

- ・ 三菱UFJモルガン・スタンレー証券(MUMSS)は、全社横断のESG推進体制の構築や、国内初のトランジションボンドの発行、また事業価値証券化取引を通じた資金調達市場の開拓に取り組んでいる点などが評価され、金融サービス部門(証券部門)で銀賞を受賞



- ESG関連ETNの新規上場(3銘柄目)
 - ・ 「スマートESG30 低カーボンリスク(ネットリターン)ETN」
- ESG債の引受け
 - ・ MUMSSにおける2021年度引受実績
グリーンボンド57件/1,961億円、ソーシャルボンド42件/2,777億円、サステナビリティボンド24件/629億円、トランジションボンド3件/112億円

海外損失事案に対する再発防止の取り組み

- グループ内外一体での推進体制を構築し、「事業戦略と顧客取引方針」「ガバナンス」「リスク管理」の各分野での強化策に取り組み
- 今後も更なる高度化に取り組むとともに、浸透策・定着化の取り組みを継続

単位: 百万円

	年 間		四 半 期							
	2021年3月期	2022年3月期	2021年3月期				2022年3月期			
			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
営業収益	388,058	351,282	107,264	84,455	88,795	107,542	69,015	92,233	94,276	95,756
受入手数料	142,538	166,415	29,014	33,825	37,810	41,887	38,337	44,068	46,050	37,959
トレーディング損益	136,957	92,630	31,676	37,278	38,256	29,745	12,944	19,331	29,889	30,464
その他の営業収益	4	4	4	—	—	—	3	0	—	—
金融収益	108,558	92,232	46,568	13,351	12,728	35,909	17,730	28,833	18,336	27,331
金融費用	50,454	43,156	42,665	527	557	6,703	19,839	5,426	10,484	7,405
純営業収益	337,604	308,126	64,599	83,927	88,238	100,838	49,175	86,806	83,792	88,351
販売費・一般管理費	274,982	285,106	63,669	67,197	69,257	74,857	69,768	66,924	71,220	77,192
営業損益	62,621	23,020	929	16,729	18,980	25,981	△20,592	19,881	12,572	11,158
営業外収益	18,648	26,505	5,839	2,863	4,446	5,499	7,765	5,427	6,090	7,221
営業外費用	788	1,442	587	28	54	118	402	△48	331	757
経常損益	80,481	48,083	6,181	19,564	23,373	31,362	△13,229	25,357	18,331	17,622
特別利益	6	132	—	6	—	—	—	126	—	5
特別損失	4,492	1,410	138	331	1,718	2,303	38	380	940	50
法人税等	21,211	10,585	1,526	5,778	6,058	7,848	△2,821	6,473	4,316	2,616
非支配株主に帰属する当期純損益	15,467	19,009	156	2,990	5,241	7,078	3,667	5,950	3,724	5,666
親会社株主に帰属する当期純損益	39,316	17,211	4,359	10,469	10,354	14,131	△14,114	12,680	9,350	9,294

単位:十億円

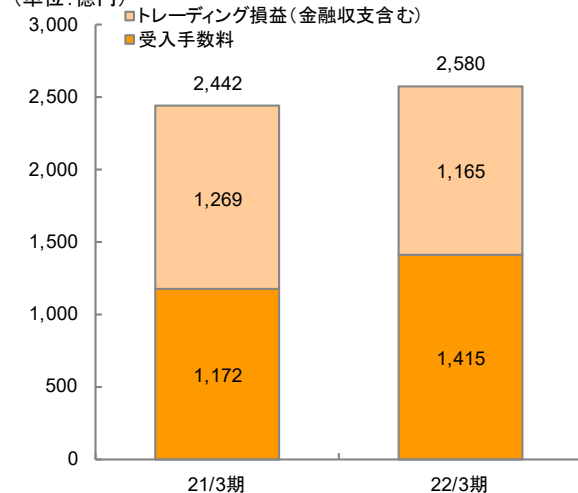
	2021年 3月末	2022年 3月末	増減額
資産の部			
流動資産	32,911	31,164	△1,746
現金・預金	1,840	2,186	＋346
トレーディング商品	15,020	12,870	△2,149
有価証券担保貸付金	13,364	13,227	△137
その他	2,685	2,880	＋194
固定資産	591	560	△30
有形固定資産	29	26	△2
無形固定資産	100	101	＋0
投資その他の資産	461	432	△29
資産合計	33,502	31,724	△1,777

	2021年 3月末	2022年 3月末	増減額
負債の部			
流動負債	30,953	28,835	△2,117
トレーディング商品	11,953	10,432	△1,520
有価証券担保借入金	11,533	10,702	△831
短期借入金	2,759	2,874	＋114
その他	4,706	4,826	＋119
固定負債	1,567	1,879	＋312
社債	804	896	＋91
長期借入金	743	964	＋221
その他	18	18	＋0
負債合計	32,525	30,720	△1,804
純資産の部			
株主資本	725	722	△2
その他の包括利益累計額	△31	△1	＋29
非支配株主持分	282	283	＋0
純資産合計	977	1,004	＋27
負債・純資産合計	33,502	31,724	△1,777

年間業績推移

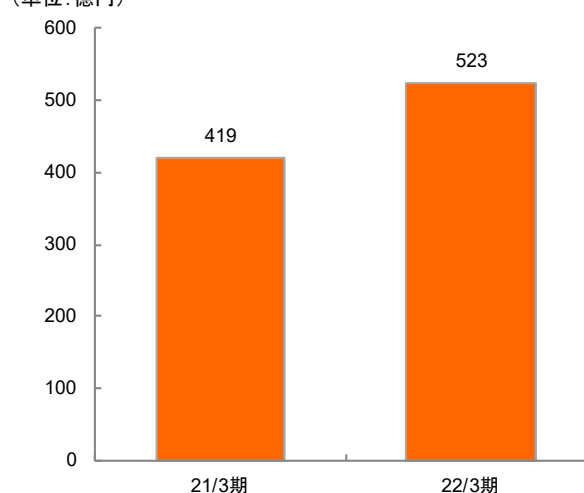
純営業収益

(単位: 億円)



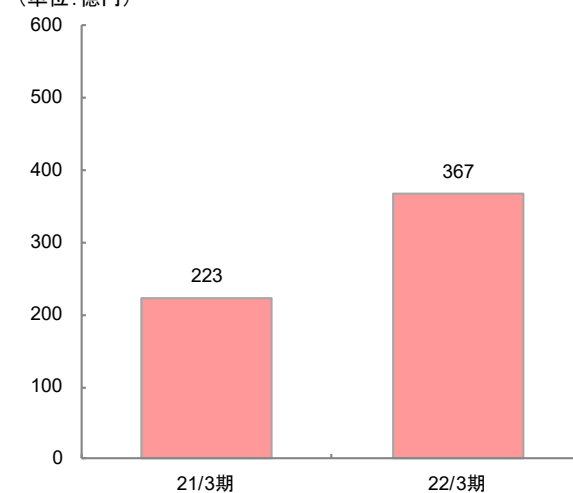
経常損益

(単位: 億円)



当期純損益

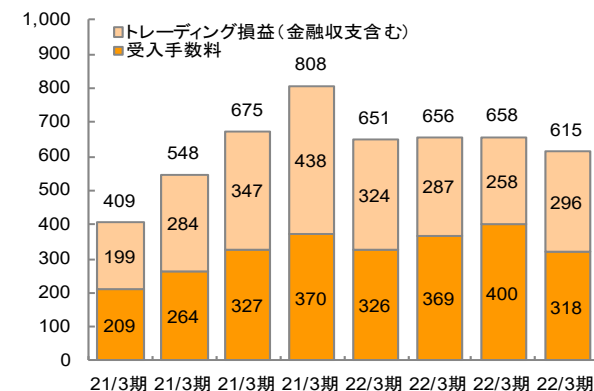
(単位: 億円)



四半期業績推移

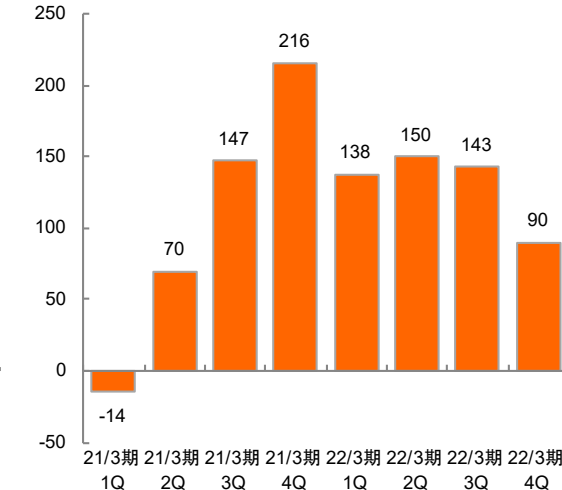
純営業収益

(単位: 億円)



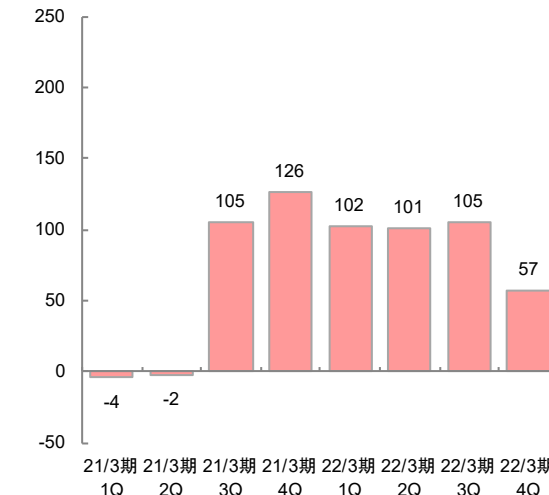
経常損益

(単位: 億円)



当期純損益

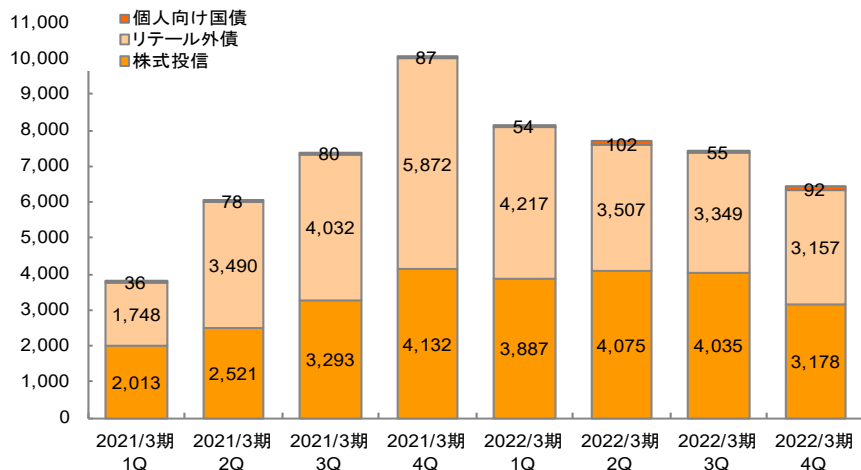
(単位: 億円)



営業部門商品販売額

推移

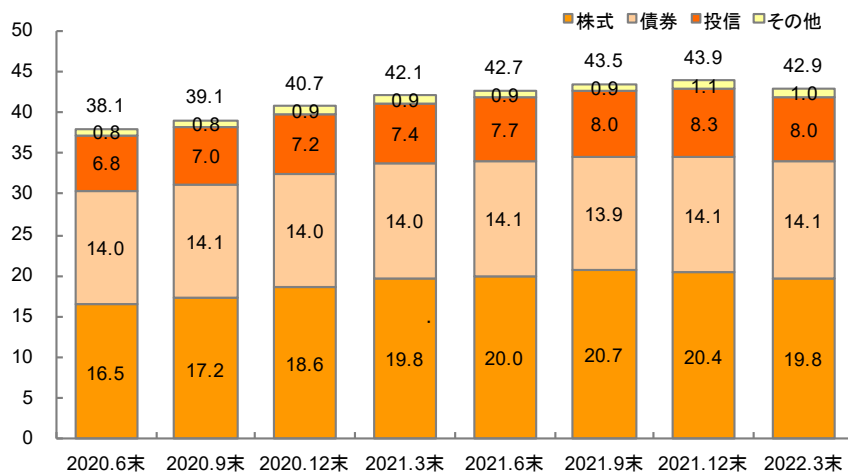
(単位: 億円) ※2021年3月期1Qの計数は、旧MUMSPBとの単純合算ベースで記載しております。



預かり資産推移

推移

(単位: 兆円) ※2020年6月末の計数は、旧MUMSPBとの単純合算ベースで記載しております。



(四捨五入表示)

投資銀行業務 ～ リーグテーブル(2021年4月～2022年3月)

- モルガン・スタンレーとの協働によりクロスボーダー案件を中心に幅広く関与した M&Aアドバイザー、及びハイブリッド債やESG債等の多様な案件で主幹事を務めた債券引受で首位を獲得。株式引受でも複数の大型案件で主幹事を担うなど、投資銀行業務全体で高いプレゼンスを維持
 - 著名なメディア等からも高い評価
 - 「Asiamoney」誌より、「Best Corporate and Investment Bank」※1 および「Best International Bank」※2 を受賞
 - 「Euromoney」誌より、「Best Investment Bank in Japan」を受賞 ※2
 - 「Mergermarket」より、「M&A Financial Adviser of the Year」等を受賞 ※2
- ※1 MUFGとモルガン・スタンレーの両社で受賞
 ※2 MUFGとモルガン・スタンレーによる日本における証券合併事業(三菱UFJモルガン・スタンレー証券、モルガン・スタンレーMUFG証券により構成)として受賞

債券(国内債+外債)総合シェア※1

順位	証券会社	シェア (%)
1	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	17.3
2	みずほ証券	17.1
3	野村證券	16.3
4	大和証券	13.6
5	SMBC日興証券	11.9
6	BofA証券	4.1
7	JPモルガン証券	3.7
8	ゴールドマン・サックス証券	3.6
9	シティグループ証券	3.3
10	バークレイズ証券	1.9

国内外エクイティ総合シェア※2

順位	証券会社	シェア (%)
1	野村	18.8
2	大和証券グループ本社	15.2
3	三井住友フィナンシャルグループ	14.2
4	みずほフィナンシャルグループ	13.8
5	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	13.2
6	ゴールドマン・サックス	8.2
7	BofA証券	7.5
8	JPモルガン	4.4
9	SBIホールディングス	1.4
10	クレディ・スイス	0.6

M&Aアドバイザー(取引金額ベース)※3

順位	アドバイザー	取引金額 (十億円)
1	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	5,517
2	ゴールドマン・サックス	5,293
3	BofAセキュリティーズ	3,899
4	野村	3,175
5	みずほフィナンシャルグループ	3,139
6	JPモルガン	2,367
7	三井住友フィナンシャルグループ	2,023
8	シティ	1,582
9	バークレイズ	1,044
10	Jefferies LLC	956

※1: 出所: 国内債はREFINITIV及び同社提供のDealWatchDBより三菱UFJモルガン・スタンレー証券作成。普通社債、財投機関債等(高速道路債を含む)、地方債等の国内債主幹事リーグテーブルを集計
 外債は企業開示情報、Dealogic、Bloomberg、IFR、Informaのデータを基にモルガン・スタンレーMUFG証券作成

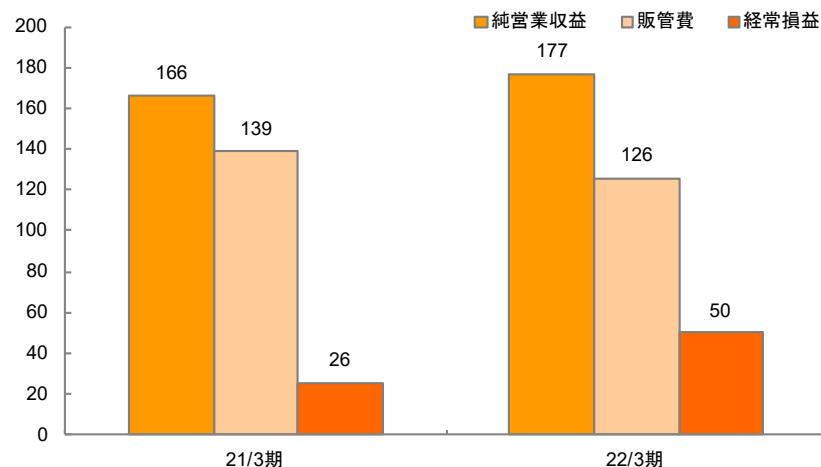
※2: 出所: REFINITIVより三菱UFJモルガン・スタンレー証券作成
 三菱UFJモルガン・スタンレー証券には、日本企業による国内市場での株式引受案件におけるモルガン・スタンレーMUFG証券の引受分、日本企業による海外市場での株式引受案件におけるモルガン・スタンレーの引受分を含む

※3: 出所: REFINITIVより三菱UFJモルガン・スタンレー証券作成
 日本企業が関わる公表案件(含、不動産取得案件)。三菱UFJモルガン・スタンレー証券にはモルガン・スタンレーがアドバイザーとなった案件も含む

auカブコム証券 年間業績推移

推移

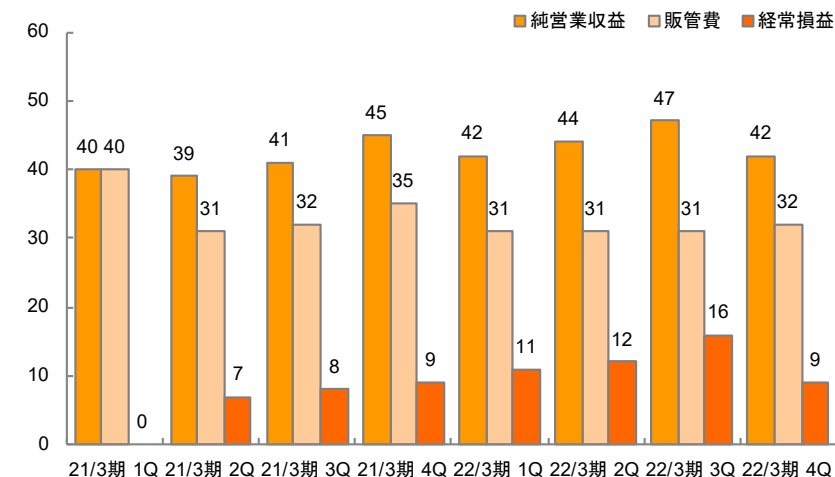
(単位:億円)



auカブコム証券 四半期業績推移

推移

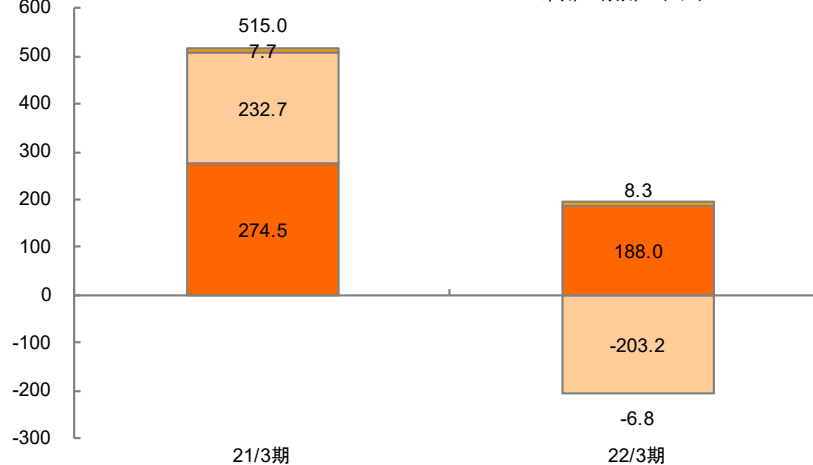
(単位:億円)



海外現地法人 年間業績推移

経常損益

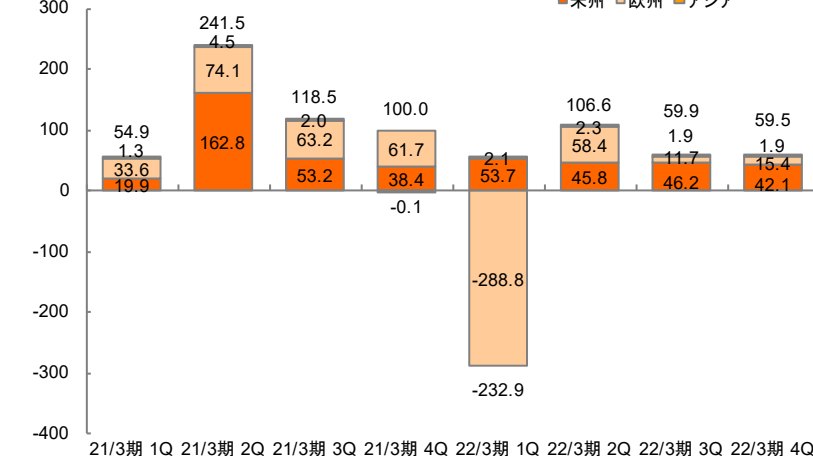
(単位:億円)



海外現地法人 四半期業績推移

経常損益

(単位:億円)

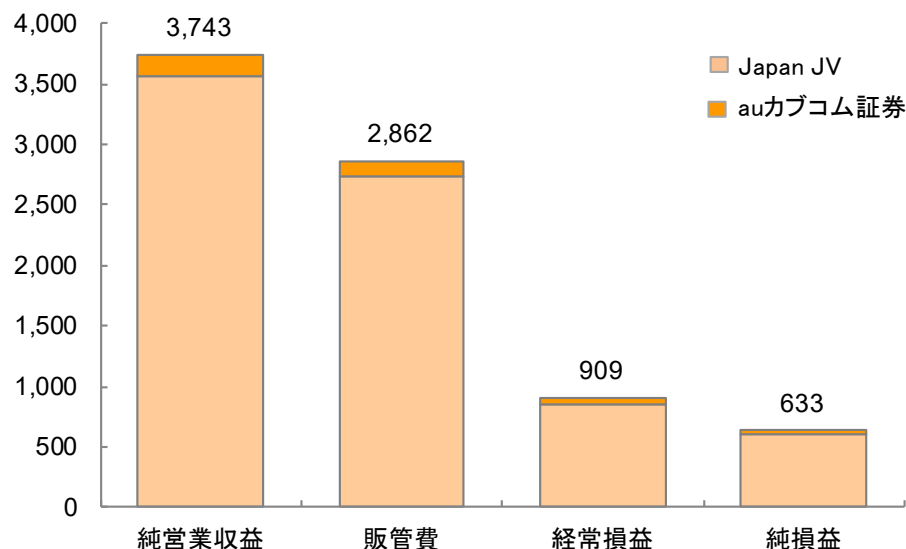


国内証券会社 業績

- 国内証券会社の純営業収益は、単純合算で3,700億円超を計上
これには、日本におけるモルガン・スタンレーとの証券ジョイントベンチャーの一つで、持分法適用関連会社であるモルガン・スタンレーMUFG証券（MSMS）の純営業収益も全額含まれている
- 『国内証券会社』は、モルガン・スタンレーとの証券ジョイントベンチャーである2社（Japan JV）とauカブコム証券の合計3社

年間の業績

（単位：億円）



※ 単純合算ベースで記載しております。

国内証券会社単純合算（単位：億円）	2022/3期
純営業収益	3,743
Japan JV	3,565
MUMSS	2,580
モルガン・スタンレーMUFG証券（MSMS）*	984
auカブコム証券	177
販売費・一般管理費	2,862
Japan JV	2,735
MUMSS	2,083
MSMS	652
auカブコム証券	126
経常損益	909
Japan JV	859
MUMSS	523
MSMS	336
auカブコム証券	50
純損益	633
Japan JV	597
MUMSS	367
MSMS	230
auカブコム証券	35

* モルガン・スタンレーMUFG証券は、持分法適用関連会社です。

外部格付

	R&I	JCR	Moody's	S&P	Fitch
--	-----	-----	---------	-----	-------

三菱UFJ証券ホールディングス

長期格付	AA-	AA	A1	A-	-
短期格付	a-1+ *	-	P-1	A-2	-

三菱UFJモルガン・スタンレー証券

長期格付	AA-	AA	A1	A	A-
短期格付	a-1+ *	-	P-1	A-1	F1

MUFG Securities EMEA plc

長期格付	AA- **	AA **	A1	A	-
短期格付	-	-	P-1	A-1	-

MUFG Securities (Canada), Ltd.

長期格付	-	-	-	A	A-
短期格付	-	-	-	A-1	F1

MUFG Securities (Europe) N.V.

長期格付	-	-	A1	A	-
------	---	---	----	---	---

*CP格付

**MTNプログラム格付（優先債）

自己資本関連指標

自己資本規制比率 MUMSS

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社の当期の自己資本規制比率につきましては、下記URLに掲載しております。

https://www.sc.mufig.jp/company/finance/cp_ratio.html



三菱UFJ証券ホールディングス

本資料は、2022年3月期の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入または売却の勧誘または推奨を目的としたものではありません。本資料は、2022年4月28日現在のデータに基づき作成されており、本資料に含まれる財務情報等は、監査法人によるレビューの対象外です。本資料に掲載されている事実および見解は、本資料作成時点において当社が認識している事実および当該時点における当社の見解であり、これらの情報の正確性および完全性を保証または約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。その他、本資料で使用するデータおよび表現等の欠落・誤謬等につきましてはその責を負いかねますのでご了承ください。なお、本資料のいかなる部分についても、著作権その他一切の権利は当社に帰属しており、電子的方法を含め、いかなる方法または目的であれ、当社に無断で複製、配布、転送等を行うことが禁止されますので、この点をご了承の上、本資料をご覧ください。